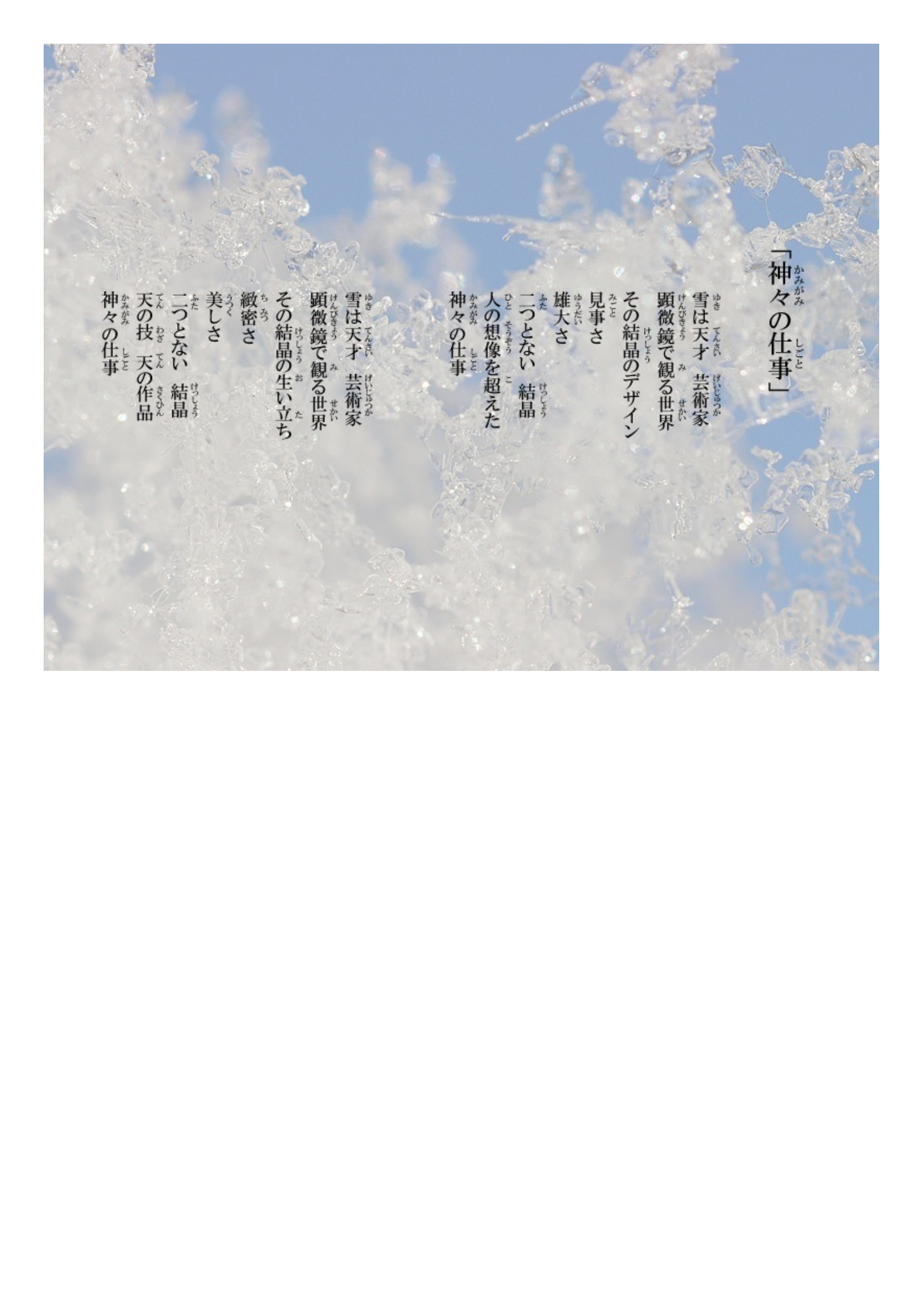


せいけん
詩集

第七十二篇

作：近藤せいけん



「神々の仕事」
かみがみ しごと

ゆき てんさい げいじあつか
雪は天才 芸術家

けんびきまう み せかい
顕微鏡で観る世界

けししょう
その結晶のデザイン

みごと
見事さ

ゆうだい
雄大さ

ふた
二つとない 結晶

ひと そうせう こ
人の想像を超えた

かみがみ しごと
神々の仕事

ゆき てんさい げいじあつか
雪は天才 芸術家

けんびきまう み せかい
顕微鏡で観る世界

けししょう お
その結晶の生い立ち

ちみゆ
緻密さ

うつく
美しさ

ふた
二つとない 結晶

てん わざ てん さくひん
天の技 天の作品

かみがみ しごと
神々の仕事